

YOROZU よろずとーく 66 TALK

全国少年フェンシング大会
中学生男子サーブル 個人戦準優勝

星野 剣斗くん

(薄根中学校3年)

Kento Hoshino

憧れから始めたフェンシング
オリンピックのメダリストになりたい



「フェンシングを始めたのは、6歳のとき。父の選手時代の写真を見たことがきっかけでした。白いユニフォームを着て剣を持つ姿がかっこよくて自分もやってみたくなりました」
憧れから始めたフェンシング。星野くんは、所属する沼田クラブの仲間と練習に励んでいる。「小学校低学年のときは、練習が嫌で泣いたこともありましたが、でも、だんだんと相手を攻めて点を取る楽しさが分かり、練習で覚えた技を試合で試してみたいと思うようになりました」
7月に行われた全国少年フェンシング大会では、後一歩及ばず準優勝という結果だった。



対戦相手と笑顔で健闘をたたえ合う星野くん(写真右)

「準優勝はすこしく悔しいです。決勝戦では、序盤にリードしていたのですが逆転されました。勝ち急いで攻撃が単調になってしまったことが敗因ですね。次に同じ相手と戦うときは絶対に負けたくないです」
大会後はアメリカ遠征に参加し、普段とは違う練習や同年代の選手たちから刺激を受けた。「世界で活躍する選手の持つパワーやスピード、テクニクに驚きましたが、勝てない相手ではないと思いました。世界の中で戦っても負けないという気持ちになりました」
フェンシングが大好きな星野くんは今後の目標を聞いた。「高校に入学したらインターハイに出場して優勝したいです。大きな夢は、オリンピックに出場してメダルを取ることですね」

優勝・準優勝の快挙を達成

県消防ポンプ操法競技大会
8月18日(土)



第4分団

沼田市消防団第4分団と第1分団が県消防ポンプ操法競技大会ポンプ車の部に参加し、第4分団が優勝しました。第1分団も準優勝し、両分団が上位を独占する素晴らしい成績を収めました。優勝した第4分団は、10月に東京都で行われる全国大会に出場します。



第1分団

自然を感じながらサイクリング

望郷ライン・センチュリーライド
8月19日(日)



沼田市と川場村、昭和村、みなかみ町の農業用道路を走り抜ける「望郷ライン・センチュリーライド」が開催され、全国から約900人の選手が参加しました。選手の皆さんは、利根沼田地区の自然を満喫しながら、思い思いのペースで楽しく走りました。

私たちの森をいつまでも大切に

「新宿の森 沼田」下草刈り
8月21日(火)

「新宿の森 沼田」で新宿区から参加した52人が2年前に植樹した苗木の下草刈りに汗を流しました。本市から参加した利根沼田自然を愛する会、高平公益社、しらさわエコキッズの皆さんは、作業を手伝いながら新宿区民の皆さんと交流を深めました。



市ホームページでも、イベント結果などを紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

またまたフォトウォーク

われら「いきいき」サークル 227

歌とハーモニカクラブ (会員数10人)

代表 倉澤和雄さん

(連絡先 ☎ 0719)



歌とハーモニカクラブは、ハーモニカを楽しく習いたいという人が集まり平成18年9月に発足しました。多種多様な曲を演奏できるのが魅力です。公民館まつりやごつたくまつりなど多くの行事に参加する他、ボランティア活動も行っています。昨年は薄根老人会の食事会に招待され演奏しました。毎月第2・第4金曜日に中央公民館で練習していますので、60歳以上で興味のある人は、ご連絡ください。初心者も大歓迎です。